

2018-04-30(月)

電気ポットを省エネ型に買い替える

中古でもらって使っていた電気ポットの調子が悪い
ので、新しい物を買うことにした。

その電気ポットは、お湯を注いだ後に本体からお湯がたれた。
それに内側の塗装が剥がれて底に沈んだりもした。ナショナルの
電気ポットで、もともとは亡くなった祖父母の家にあった物を
もらった。消耗パーツを地元の電気屋さんで取り寄せ、それを
取り付けて使っていた。ネット通販で買うのもいいけど、
家の近くに家電量販店があるので旦那さんと一緒に行ってみた。

量販店だと関連商品の実物を一覧できるのが良い。新製品は
古い物と比べて大分違う。保温時の設定温度の選択肢が増えて
いたり、2重構造でマホウビンのようになっていて保温性能が
アップして節電できたり。エア給湯併用で電源コードなしでも
給湯できたり、80°C、90°Cにしたい時に沸騰セーブ(完全に
沸騰させないで希望の温度で止める)機能で節電できたりする。

迷った末に、エア給湯のタイガーより沸騰セーブの象印を選んで
買った。省エネ機能はわかったけど、古いポットと比べて省エネに
なっているのか知りたくてパナソニックのHPで調べた。NC-EDF22
の取説や商品スペックの情報はなく、同じモデルの新しい型式で
HPに載っている中で1番古い物と思われるNC-EH22と買った物
とを比べてみた。すると確かに「年間消費電力量」は減り、
「年間電気代」の目安も安くなっている。

卓上ポットやステンレスボトルを使って電気ポットの保温を止めれば
節電になるのはわかってるけど、1日中家にいる時はコーヒー、紅茶、
緑茶に白湯と、飲みたい物がいつでも飲める便利さは捨てられない。
沸騰セーブ機能は、外していたプラグを挿してから90°Cになるのが
早く便利だ。寝る時はステンレスボトルにお湯や水を入れておいて
電気ポットは使わない。機能を生かしたり工夫したりすれば、
さらに節電できる。



左:古い電気ポット / 右:新しく買った電気ポット

著者: minima

アラフォー女子。グリーンコンシューマー東京ネット
会員。この連載をまとめた電子書籍
[「エコな買物がしたい」](#)がAmazonにて販売中。